

我々の教育システム情報学マップ：問いの体系化の共有に向けて

オーガナイザ：近藤 伸彦（東京都立大学），田中 孝治（金沢工業大学），
山元 翔（近畿大学），大崎 理乃（信州大学），
米谷 雄介（香川大学），高橋 聡（関東学院大学），
田和辻 可昌（早稲田大学），東本 崇仁（千葉工業大学），
林 佑樹（大阪公立大学），光原 弘幸（徳島大学）

【本企画の背景と趣旨】

教育システム情報学会（JSiSE）は、2024年に設立50周年を迎えます。これにともない、現在、50周年記念事業として様々な企画が進められていますが、そのひとつに、本分野における研究者の皆様が解決に取り組む様々な「問い」を体系化し、「教育システム情報学マップ」を作成する「教育システム情報学マップ作成WG」があります。本セッションは、本WGで取り組んでいる「教育システム情報学における問いの体系化」および「研究マップ作成」について、学会内外のさまざまな方へその検討内容を紹介するとともに、公開ディスカッションを行う場として企画提案するものです。

本WGではこれまで、JSiSE学会誌における解説特集の掲載や、2022年度全国大会プレカンファレンスの企画などの活動を進めてきました。現在は、学会誌Vol. 40, No. 2の解説特集「我々の教育システム情報学マップ：問いの体系化の共有に向けて」に掲載した以下3編の解説をベースに、具体的なマップの提案に向けての検討と作業を行っています。解説1～3はそれぞれ、教育システム情報学研究の知識体系化、本分野の研究者や学生に向けたマップ、本分野の外部の方々に向けたマップについて議論したものです。

解説1「教育システム情報学研究の知識体系化を目指して」

<https://doi.org/10.14926/jsise.40.120>

解説2「学習・教授のインタラクションに基づく教育システム情報学マップのプロトタイプ」

<https://doi.org/10.14926/jsise.40.131>

解説3「対話を生み出す教育システム情報学マップの姿を描く」

<https://doi.org/10.14926/jsise.40.141>

これら3つの解説をふまえた検討プロセスとして、本WGと教育システム情報学のシニア研究者の先生方（柏原昭博先生、小松川浩先生、仲林清先生、松居辰則先生、瀬田和久先生、小尻智子先生、松浦健二先生、三石大先生、長谷川忍先生、山本樹先生）によるディスカッションを計画しています。本プレカンファレンスはその一環として、シニアの先生方との公開ディスカッションの場とし、それぞれのテーマについて徹底的に議論を尽くすことを想定しています。このディスカッションでは、多くの（遠隔を含む）参加者の方々からもリアルタイムに意見をいただけるような仕組みを予定しています。これらの議論は、参加者の方々にとっても、本分野とご自身との関係を改めて問い直す機会としていただけるものと考えております。ご関心をお持ちいただいた多くの方に、ぜひ気軽にご参加いただきたいと思います。多くの方々と一緒に「教育システム情報学マップ」について議論を深めることができれば幸いです。

【プログラムの構成】

09:00-09:30 趣旨説明・これまでのWGの活動紹介、これまでの議論の説明

09:30-11:50 各テーマについての公開ディスカッション（休憩もはさみつつ柔軟に進行）